

<展示コンセプト>

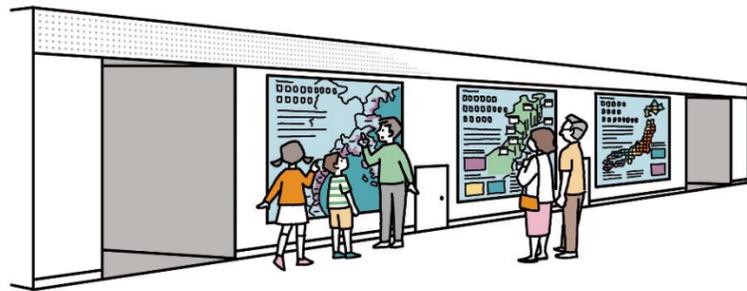
かけがえのない命を守るために、未来へと記憶を届ける場

③ シアター「逃げなさい！」



科学的視点とリアルな映像で津波の恐ろしさを伝える。

② 東日本大震災を知る

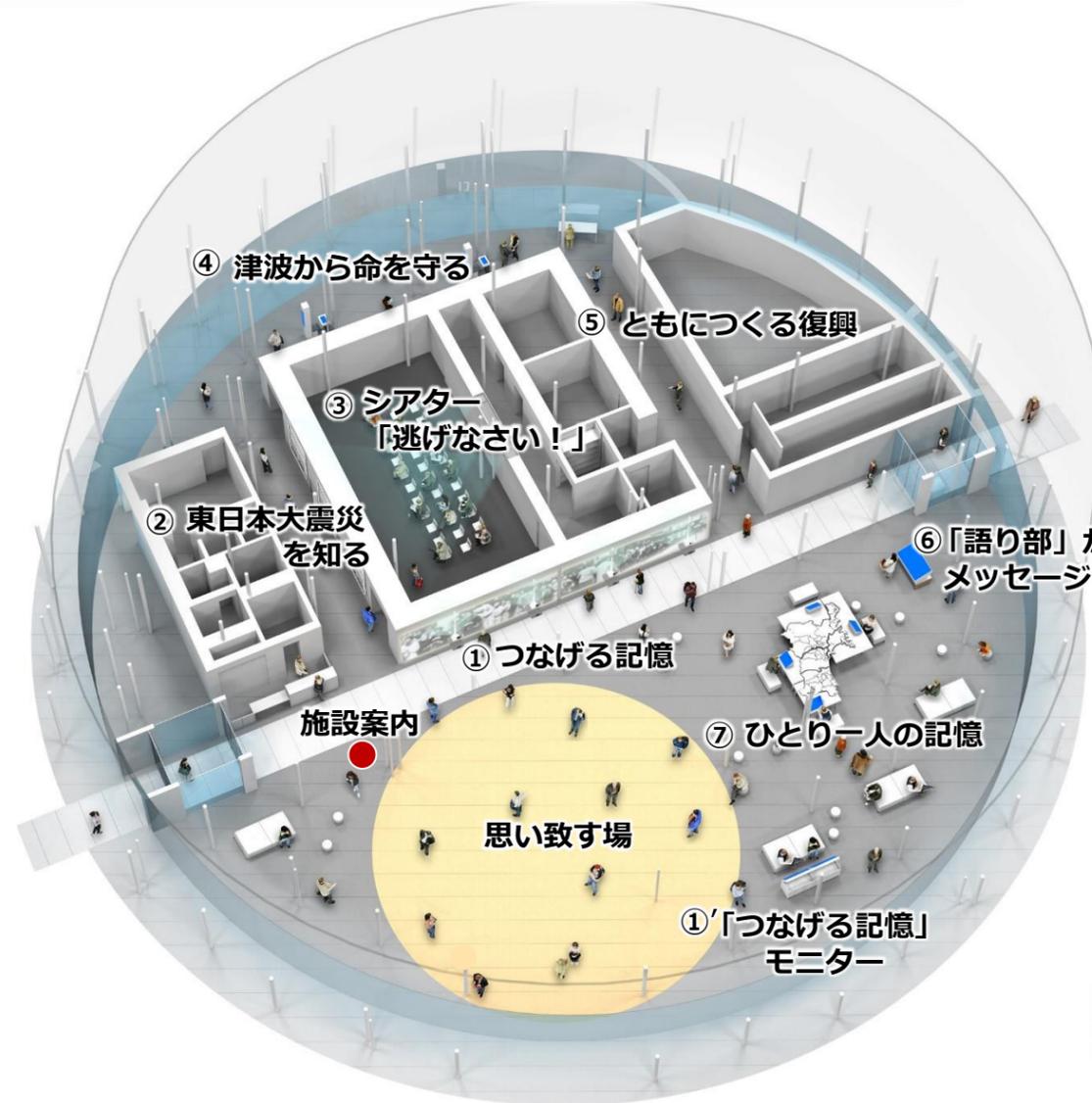


東日本大震災の概要と県内被害を伝える。

① つなげる記憶



津波の歴史や震災前後の記憶を通し、被災の大きさを伝える。



⑦ ひとり一人の記憶



震災当時から現在に至るまでの様々な立場・視点の証言を映像で紹介する。

④ 津波から命を守る

被災時の人々の証言等を紹介する。



⑤ ともしつくる復興



震災を経て生まれた、まちを元気にし、立ち上がらせる取組や施設、団体を映像で紹介する。

⑥ 「語り部」からのメッセージ

県内各地の語り部活動の様子を映像で紹介する。



※展示名称及びイラストは、今後変更する可能性があります。

展示物名称

① 「つなげる記憶」

展示コンセプト

在りし日の情景を映像で映し出し、記憶を誘うシアターです。
失われた街を偲び、被災の大きさを心に刻みます。

展示物概要

- かつての県内の風景を辿りながら、繰り返し来襲した津波の歴史を伝えます。
- 津波によって日常生活が一瞬にして失われた衝撃と、その大きさを映像で表現します。

映像の特徴

※10分程度の映像コンテンツを想定

- 1 震災前、震災後の変化を人々やまちの記憶を通し、被災の大きさを心に刻みます。
- 2 最新映像を駆使した印象的な映像表現により、過去の写真や絵図で情景を演出します。
- 3 津波のシーンでは直接的な視覚表現は避け、語り部の朗読と文字表現で臨場感を演出します。

●空間イメージ



開かれた壁面に映像投影を行います。

展示物名称

② 東日本大震災を知る

展示コンセプト

観測史上最大級の地震・津波による甚大な被害とその全体像を伝えます。

展示物概要

- 東日本大震災の全体像、および全国最大を記録した宮城県の被害の全体像を概観できるものとし、各特徴と基礎的情報を分かりやすく伝えます。

●空間イメージ



地図ベースによる全体解説とグラフィックによる宮城県の被害概要解説を行います。

※展示名称及びイラストは、今後変更する可能性があります。

展示物名称

③ シアター「逃げなさい！」

展示コンセプト

リアルな映像と科学的視点で津波の恐ろしさを実感します。ドキュメンタリータッチの演出により、津波から命を守るには“逃げる”ことしかないと徹底的に訴えます。

展示物概要

※10分程度の映像コンテンツを想定

東日本大震災の事実を基に、科学的視点から津波の恐ろしさを伝えます。命を守ることを最重要事項と捉え、津波から“逃げる”ことの重要性を徹底的に訴えます。

映像の特徴

- 1 「人々の動き」と「地球・自然の動き」を対比させ、“同時間性”にこだわったストーリーを展開します。
- 2 残された映像や人々の証言など、東日本大震災の事実を最大限取り入れ、リアリティを追求します。
- 3 データやメカニズムなど、科学的視点で“逃げる”意識・行動の定着へと結びつけます。

●空間イメージ



同時間性を表現する大型画面のマルチスクリーン演出を行います。

展示物名称

④ 津波から命を守る

展示コンセプト

“津波から命を守る”ための意識を植え付け、将来の危機に備える行動を強く促すために、日と山を望む空間にじっくりと向き合い学べる場を設けます。

展示物概要

- “津波から命を守る”ことに焦点を絞った展示です。一つひとつの事例や証言にじっくり向き合い、より深く学ぶ場として設定します。
- 被災した方々の実体験に基づき、空間全体で“津波から命を守る”ための意識と行動のあり方をしっかりと植え付け、一人ひとりの行動を誘発します。

展示項目

- 津波から命を守るために被災時の人々の証言から、命を守るには逃げるしかないと学ぶ展示です。壁面では東北地方を繰り返し襲った津波の歴史や津波のメカニズムを紹介します。
- 日と山をのぞむ日と山や震災遺構・旧門脇小学校を窓の外に眺めながら、南浜地区のこと、震災当時ここで起きたことを知ってもらいます。

●空間イメージ



○検索装置イメージ



※展示名称及びイラストは、今後変更する可能性があります。

展示物名称

⑤ ともにつくる復興

展示コンセプト

東日本大震災を経て生まれた、まちを元気にし、地域を立ち上がらせる取組や施設、団体を紹介します。

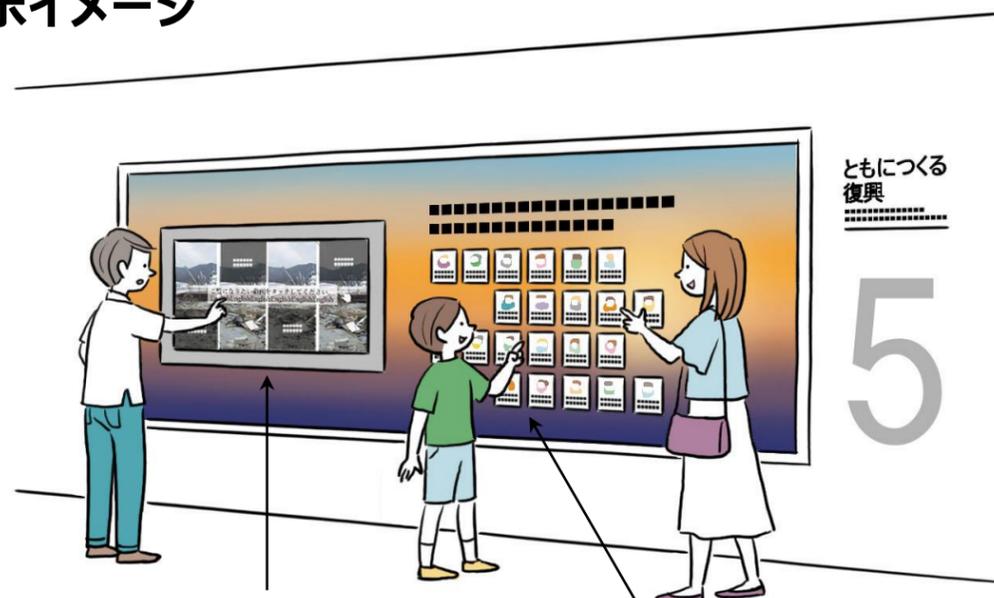
展示物概要

県内各地の団体や企業、様々な人のまちを元気にする取り組みや場所を映像で紹介し、今の「みやぎ」を発信します。

展示項目

- 県内各地の復興を実感できる場所や出来事、地域の産品を取り上げ、来館者に被災地に訪れてもらうきっかけを提示します。
- 現地からの声を幅広く集め、映像を通して紹介することで、被災地以外の地域には伝わりにくい今の「みやぎ」の姿を発信します。
- 現地からの声を通して発信することで、国内外の多くの人々が被災地に関心を持ち続け、震災学習や観光のモチベーションを高める事につなげます。

● 展示イメージ



大型モニターにより、各地でインタビューした映像を紹介（更新可能）

映像コンテンツをグラフィックで紹介（更新可能）

展示物名称

⑥ 「語り部」からのメッセージ

展示コンセプト

県内各地の語り部団体の活動の様子を紹介し、震災遺構や伝承施設など、現地へ訪れてもらうきっかけを提示します。

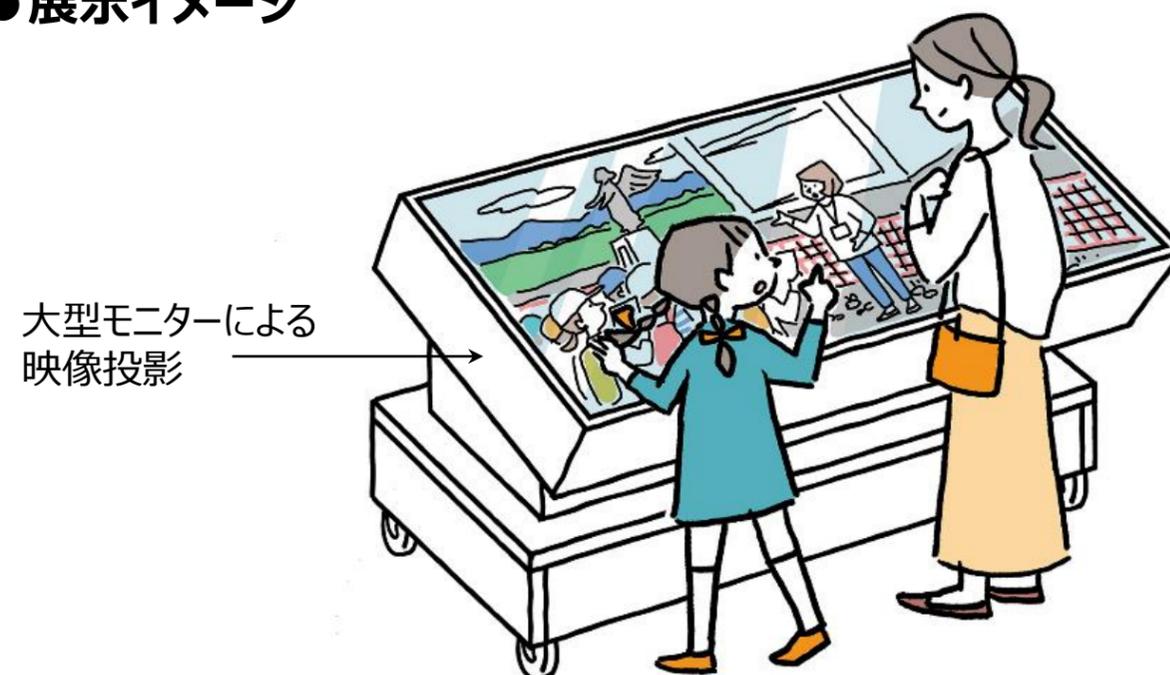
展示物概要

テーブル型ディスプレイを使用し、県内各地で活動している語り部団体の活動の様子を紹介します。
震災遺構や伝承施設の情報もあわせて紹介します。

展示項目

- 県内各地で語り部団体が実際に活動している様子や、活動内容をダイジェストで上映します。
- トップ画面では、「語り部団体」、「県内地図」等による検索の入り口を設け、タッチパネルによる直接的な操作を可能にします。

● 展示イメージ



大型モニターによる映像投影

※展示名称及びイラストは、今後変更する可能性があります。

展示物名称

⑦ ひとり一人の記憶

展示コンセプト

被災された方の震災当時から現在に至るまでの証言映像を通じ、様々な角度から震災を考えるきっかけを提示します。

展示物概要

東日本大震災で被災された方を対象に、震災当時のこと、その後の活動や取組について、さらに、震災から年数が経って、現在感じられることを伝えます。

展示項目

- 自ら被災した当時の経験、救援・救護の現場や復旧・復興へ向かう中で取り組まれたことなど、様々な立場・視点の証言をインタビュー映像で紹介します。

● 展示イメージ

イラストやキャッチコピーによる証言者の紹介

